



若竹だより



【巻頭言】

発達障害

—子どもの個性を大切に—

園長 野田大燈

今年に入って県外で 2 度の研修を受けさせて頂きました。

偶然にも共に「発達障害」についてのものでした。

今回の研修で講義をして下さった発達障害が専門の精神科医 A 先生が講演の冒頭で「すいません、私は ADHD (注意欠陥/多動性障害) ですので今回のための資料を纏めようと 2 時間ほど頑張ったのですが 10 分程度しか集中出来なくて配布資料が作成できませんでした」と話され、私にも同じような傾向がありますので先生に対して好感と親しみをもちました。

近年は発達障害の子どもたちが増加傾向にあるようですが、その原因が何にあるかは特定されていませんが子どもの発達障害だけでなく、大人の発達障害が取り沙汰されています。

この世の中には能力の高い人・低い人・普通の人など様々な人がいて社会が構成されていますから、自分の能力で理解できない人がいても当然だと思います。

発達障害という言葉は既にご承知だと思いますが、脳科学の発達により発達障害の原因

が脳の機能障害だと解ってきました。

それまでは家庭での躰が出来ていないと考えられて、特にお母さんが責められていた傾向もありました。

発達障害には自閉症や ADHD (注意欠陥/多動性障害)・LD (学習障害) 等があり、集団生活にうまく溶け込めないのが特徴かもしれません。

アメリカで、わが子の行動が理解できなくて精神科を訪れて検査してもらったら「アスペルガー」だと診断されたそうです。

すると母親が子供に「アスペルガーでよかったね」と言ったそうです。

現代医学ではまだ脳の障害を治癒させる薬は開発できていないそうです。

人体はこころと肉体で構成されていますので、心の発達障害のみでなく、肉体の障害を抱える方もおられます。

幸いにして現在は心身に障害のない人でも不慮の障害を抱えることもあります。

その立場に立って障害のある方々を差別することなく仲間として受け入れることが出来る社会が必要だと思います。

人には長所・短所も含めて夫々個性がありますように、障害を持つ人も個性だと捉えたらよいと思います。

私は現在「五色台焼」という特殊な陶芸に取り組んでいますので、アスペルガーなど個性に富んだ子どもたちに継承してほしいと願っています。

—了—



節分

鬼は外、福は内！今年も節分がやってきました。

まずはお昼ご飯に恵方巻きを頂きました。食堂の位置から今年の恵方・西南西を調べる



と、ちょうど学園の犬たちが住んでいる方向、西南西でした。今年一年の無病息災を願って、静かに黙々と食べました。

5 時間目の授業が終わっておやつ後、学園玄関にて豆まきをしました。今年も鬼がやって来て、みんなで鬼退治です。

それぞれの鬼を退治した後、年の数だけ豆を食べました。1 年間、元気よく過ごせますように！

劇団四季観劇

先日、ご招待いただいて劇団四季・ふたりのロッテを観劇してきました。

普段は学園で過ごしている夜の時間帯に出掛けました。いつもと違う静かな劇



場の雰囲気こそわさわわしていた子ども達ですが、劇場に入って開演されると、目の前で繰り広げられる光景に見入っていました。またとない機会を下さり、ありがとうございました。

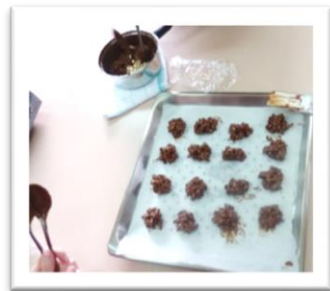
バレンタインデー



今年も女の子たちと一緒に、バレンタインのチョコ作りをしました。

去年はトリュフでしたが、今回はパフチョコに挑戦してみました。

ミルクチョコ班とホワイトチョコ班に分かれ、細かく砕いて湯せんしたり、



パフを混ぜて形作りをしました。冷まして固まってから、かわいくラッピングです。



夕食のときに、美味しくいただきました。女の子のみなさん作ってくれてありがとうございました！

積雪の季節？

毎年子ども達が大喜びする積雪ですが、今年は積もるほどの雪がほとんど降っていません。降っても、午前中だけで溶けてしまうほどのお天気に…。

1 月末に降り積もった雪も、雪だるまを作るのみで溶けてしまいました。



春が来る前に、積もってくれるかな？ 大人の心配はさておき、子ども達は雪が降り積もるのを楽しみにしています。

若竹学級たより

学習のまとめ

今年度も、残りわずかとなりました。2 月は、小学生、中学生ともに学習のまとめの月となりました。

中学生は、学習の診断（香川県下一斉に実施するテスト）と学年末テストに挑みました。各自が目標をもち復習に取り組み、テストに臨むことができました。

小学生、特に 6 年生は、放課後自主的に補習に取り組み、中学校進学に向けて小学校で学んだことの復習に取り組んでいます。

オリジナルクッション作り



小学 6 年生が、家庭科の授業でオリジナルクッション作りをしました。いつも元気いっぱいな小学生の教室が、休み時間も静かなので覗いてみると、それぞれが真剣な表情でクッション作りに取り組んでいました。細かい作業なので、苦戦している児童もいましたが、諦めずに作品を仕上げる事が出来ていました。

ある児童は「先生、すごくいい感じにできたよ」と作品を見せてくれ、とてもよい表情をしていました。物づくりから得る達成感は子どもたちにとってよい刺激になったようです。

たくましく生きる



ある日、フィールドワークに出かけました。目的地は若竹学園から山道を歩いて 20 分ほどの所にあるアスレチック広場です。厳しい寒さの中、生徒たちは薄着でどンドン歩いて行きます。途中、「こっちが近道だよ」と木の間を通り、斜面を駆け上がって行く姿も見られ、その元気さに圧倒されました。

目的地に着くと生徒たちは元気にアスレチックで活動していました。中には半袖に裸足で芝生を走っている生徒もいました。そんな生徒たちを見ていると、なんだかこちらまで元気がわいてきました。

テレビゲームやパソコンが普及し、外で遊ぶことが減ってきている今の時代、生徒たちは自然に囲まれ、本当にたくましく成長しているなと改めて感じさせられました。

今年度を振り返って

いよいよ今年度も残り 1 ヶ月となりました。振り返ってみると、生徒一人一人がよく学習に取り組んだなと強く感じました。

また、新たな取り組みとして始まったクラブ活動では、それぞれが本当に充実した時間を過ごし、自分たちの得意分野や興味のあることを深めることができたよい活動になりました。

体験活動では、ゴスペル&ダンス教室、福祉体験、和菓子づくり教室など、たくさんの活動を実施し、児童生徒のよい面を発見することができました。

来年度もさらによい活動ができるように、生徒と一緒に頑張っていきたいと思います。

農園便り

先日、ジャガイモを収穫しました。

シナシナにな
った茎をみて、
本当にジャガイ
モが出来ている
のかな?と心配
になりましたが、
土の中からコロ
コロとジャガイモが出てきました。



学園は山の上にある
ので、山の下よりも気
温が低めです。そのた
め、同時期に収穫した
他の地域で取れるもの
より、少し小さめのジ
ャガイモになってしまうそうです。



このじゃがいも
は、学園の食事に
使ってもらい、美
味しくいただいで
います。



~御寄附ありがとうございました~

三菱東京 UFJ 銀行

劇団四季チケット

卒園式・卒業証書授与式のお知らせ

今年も子ども達が巣立つ卒園式のシーズン
がやってきました。

平成 27 年 3 月 20 日(金)午前 10 時より若竹
学園にて、卒園式・卒業証書授与式を行います。
新しい場所へと旅立つ子ども達の様子は、来月
号にてお知らせできればと思います。

在籍人数

平成 27 年 2 月 25 日現在

| 区 分 | | 県内 (人) | 県外 (人) | 合計 (人) |
|--------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 男 子 | 小学生 | 4 | 6 | 10 |
| | 中学生 | 5 | 2 | 7 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 9 | 8 | 17 |
| 女 子 | 小学生 | 2 | 1 | 3 |
| | 中学生 | 4 | 1 | 5 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 6 | 2 | 8 |
| 合計 | | 15 | 10 | 25 |

編集後記

今年も子ども達と一緒に一泊のお別れ旅行に
行ってきました。旅先は不安もありますが、
子ども達の成長が垣間見え、嬉しいものでも
あります。その模様はまた来月号にてご報告
いたします。 児童指導員 吉田 加世

第 253 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp/>

(1 月 1 日より HP が変更しています)

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈

2月行事

- 3 日 節分
- 10 日 環境整備
- 14 日 劇団四季観劇
- 15 日 バレンタインチョコ作り
- 17 日 防災訓練
- 26-27 日 お別れ旅行